

目次

ごあいさつ	4-8 ページ
-------------	---------

万葉倶楽部グループ	代表取締役会長	高橋 弘
株式会社 天成園	代表取締役社長	目黒 俊男
万葉倶楽部 株式会社	代表取締役社長	高橋 理
日本ジャンボ 株式会社	代表取締役社長	高橋 洋一
万葉倶楽部 株式会社	専務取締役	高橋 眞己

万葉倶楽部グループ 役員紹介	10-11 ページ
----------------------	-----------

万葉倶楽部グループ グループ会社	14-15 ページ
------------------------	-----------

万葉倶楽部株式会社 会社概要	18 ページ
----------------------	--------

万葉倶楽部株式会社 施設一覧	19-21 ページ
----------------------	-----------

万葉倶楽部グループ グループの沿革	24-38 ページ
-------------------------	-----------

万葉倶楽部グループ 売上高・経営利益	40 ページ
--------------------------	--------

ご祝辞	42-45 ページ
-----------	-----------

創業 60 年

1957

MANYO CLUB GROUP

2017

より人間力の溢れる企業を目指して

万葉倶楽部グループ

ごあいさつ

万葉倶楽部グループ 60周年謝恩会

ごあいさつ



万葉倶楽部グループ
代表取締役会長

高橋 弘

本日はご多忙の中、本会にご出席頂き有難うございました。

会場の都合で60周年記念催事は50・55周年程の方にお声掛け出来ませんでした。この会は私が熱海の伊豆山で小さなアルプス写真を創業して60周年に成りました。現在では時代も変わり創業の写真業から全く違った業種となりましたが、取引先を主に声を掛けさせて頂きました。せっかくのこのような会ですので万葉倶楽部グループの概況を発表させて頂きます。統括会社は万葉倶楽部でありますが、この会社の株式はほとんど次世代の4人の子供たちに渡し済みであります。事業の継承は終わっています。この会社を持ち株会社として直営の日帰り温泉とホテル併設の万葉の湯が9館あります。其れに各会社が独立法人経営のホテル施設が4館と写真業の日本ジャンボー、ビルメンテナンスのSBM、その他コンピュータ会社で動画配信を主としているロジックデザイン、不動産取引ウエタカ商事の合計10社から成り立っています。

概況はスクリーンの通りです。当社は余りこのような資料を公表しておりませんので今回初めてです。そうは言っても借入金が約100億円以上有りますが、現況ですと1年間に約20億円返済していますので、5～7年で返済できる金額で有ります。お陰様で経営はすこぶる順調です。このような事になっているのは幹部の皆様の働きぶり、その指導のもと社員の皆様の努力の賜物といつも思っています。決して私では有りません。

私は歌で言えば音頭取っているだけです。特に目黒社長は熱海温泉旅館組合の理事長でございます。いち勤め人が熱海の旅館組合の長に着いたのは初めての事です。その様な人材に恵まれ、万葉倶楽部グループの前途は安定しています。4人の次世代を担う子供達もそれぞれの持ち場をしっかりと守って私の教えをしかと日々励んでいます。何か自慢話になってしまったかもしれませんが、そんな現況で有ります。新規事業に付いては次世代の仕事と位置づけしていますので述べません。

どうか此れからも当グループを宜しく御願い申し上げます。

有難うございました。

万葉倶楽部グループ 60周年謝恩会

ごあいさつ



株式会社 天成園
代表取締役社長
静岡県ホテル旅館
生活衛生同業組合
副理事長
熱海温泉ホテル旅館
協同組合 理事長

目黒 俊男

本日は大変お忙しい中、万葉倶楽部グループ謝恩会にご出席賜りまして誠にありがとうございます。

弊社は、グループ創業60周年を迎えることとなりました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と厚く感謝申し上げます。

私共、ホテルグループの掲げる理念は、常にリラックス、感動と思い出作りに邁進することに依り、お客様に至福の時間を提供することと考えております。

現在、ホテルグループは、箱根、湯河原、熱海、伊豆長岡の各温泉地にホテル4館を展開しており、各々の地域経済のもと、その土地柄をお客様に発進し、旅行の楽しさを感じてもらうことが何よりも大切なことだと思っています。

その為にはお客様のご要望をどれだけ促え、従業員一人一人が思考し、挑戦、進化していくことが必要だと考えます。今後日々、施設、料理、サービスの充実を図り、究極の「宿」を目指して行く所存であります。

そして新たな施設として小田原東口、京都市への進出も期待するところであります。

しかし、我々を取り巻く環境は、毎年、再び重なる災害で多くの観光地が苦難をしいられているのが現状であります。また、長期に亘るデフレ傾向によりお客様を海外旅行へと向かわせる要因の一つとして予測されますが、我々が今一步お客様への気持ちが届いていないのが現実なのかも知れません。

一方では、訪日外国人のお客様が2003年の観光立国宣言以降、多くの方が来日されています。2020年は4000万人とも言われています。

地域経済活性化効果を期待するものではありませんが、外国人旅行者の受け入れの環境整備が遅れているのも事実であります。それらを総合し、旅行の楽しさを満喫でき、お客様に幸せの提供が出来る企業体になる努力を進めていく所存であります。

ご来訪の皆様方におかれましては、より一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げご挨拶とさせていただきます。

万葉倶楽部グループ 60周年謝恩会

ごあいさつ



万葉倶楽部 株式会社
代表取締役社長

高橋 理

本日は、大変お忙しい中、万葉倶楽部グループ60周年記念・謝恩の会に、ご出席頂きまして、誠にありがとうございます。

また、皆様には、平素より万葉倶楽部グループをお引き立て頂き、誠にありがとうございます。

さて、弊社では、今年、創業60周年を迎え、その記念事業として、現在『小田原駅東口再開発事業』を推進しております。

本事業は官民一体となった『神奈川県西の玄関口としての広域交流拠点』として、多くの人々が行き交う活気のある施設を目指しており、ホテルを含む複合商業施設を総額約125億円で開発致します。

小田原駅東口前に、敷地1600坪・延べ床面積にして約10000坪の開発を行い、2020年の開業を目指しております。

また、2017年12月初旬になりますが、1984年に「国民年金京都会館 京都エミナース」としてオープンし、その後、民間に売却された、現『京都エミナース』を取得・運営することが決まっております。

この施設は、京都の西京区に立地し、ホテル・温浴施設・コンベンションホール・ボウリング場から成り立っており、弊社グループの事業領域とも合致し、今後の収益向上が見込める施設でございます。

以上は新規施設開発の概要ではありますが、一方、既存事業を取り巻く環境は日に日に厳しくなっており、特に『お喜び頂けるサービスの提供』『雇用の促進』

『消費動向の変化への対応』・『インバウンド対応の強化』等々、事業継続に不可欠で早急に取り組まなければならない課題が山積をしている状況ではありますが、役職員一同、この課題克服に向け全力で取り組んで行きたいと考えております。

また、弊社グループでは今後とも、『一步一步』『確実に』をキーワードに、本日も来臨を頂いております事業パートナーの皆様のご支援を頂きながら、着実に事業を進めていく所存であります。

ご来臨の皆様方におかれましては、今後とも今まで同様に、ご支援ご鞭撻を賜りたく、謹んでお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

万葉倶楽部グループ 60周年謝恩会

ごあいさつ



日本ジャンボー
株式会社
代表取締役社長
高橋 洋一

本日は大変お忙しい中、また遠方より万葉倶楽部グループ謝恩会にかくも大勢のお客様に、ご来臨を賜り誠にありがとうございます。

また、日頃はグループ各社を、ご利用、お引き立ていただき、誠にありがとうございます。弊社は、現会長の高橋が写真業を創業以来、60年の節目の年となりました。よく、10年一昔と言われますがそれが6回転したことになります。会社の寿命は一般的に30年といわれますが、幸運にもその倍の60年を迎えることができましたことはひとえに本日、ここにお集まりいただきました皆様方の、ご指導ご鞭撻の賜物と、衷心より感謝申し上げます。

グループ創業の原点である、日本ジャンボー株式会社は、1991年に株式の店頭上場を果たし、業界での地位を確立しました。その後、企業活動の機動的、戦略的運営には、素早く判断し、果敢に実行できる、組織体が必要であるとの判断から、2008年にはMBOによる上場廃止を断行するなど、常識にとらわれない果敢なチャレンジを続ける企業グループとして、業態転換に取り組み、第2の創業ととらえて万葉倶楽部の創立、ホテルグループの創立、デベロッパー分野への進出など、グループのビジネス分野も創業時から大きな変貌を遂げております。

グループの変遷につきましては、この小冊子にまとめてございますし、本日お配りさせていただく、「101歳の道程」高橋弘著に折々の出来事と共に詳しく記載されておりますので、あわせてご高覧いただければ幸いです。

昨今では、北朝鮮問題、中国の台頭、原発の是非、憲法改正、少子化問題、消費税問題など、政治の世界もまったなしの課題が山積し、衆議院の総選挙が行われたばかりです。ビジネス界においても、戦争リスク、いつか来ると言われている首都圏地震リスク、政府が主導する働き方改革や、AI技術の信じられない進化など、不確定要素が山積し、先が見通しづらい世の中になってきていると思われ、事業環境も厳しさを増しております。万葉倶楽部グループはそんな中でも、重心は低く保ちながらも、積極果敢な投資を行っており、その投資したビジネスをなんとしても、成功させなければなりません。更に言えば、会長が常日頃から申している「100年続く企業グループ」になりたいという大目標。どうしたら、それが達成できるか。それには、まずは弊社グループ従業員が一丸となって、一条乱れず取り組む姿勢を見ていただくことであり、ひいては、本日お集まりいただきました取引先各社さまとの信頼関係を確固としたものにして業務に取り組んでゆくことだと思います。人間の可能性には限りがありません。グループ従業員の力が一つになれば、100年続く企業グループとなることも夢ではないと思います。そう思うと、我々だけの力では限界があります。

本日ご来臨いただいた、皆様からのますますの、叱咤、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

共に明るい未来を夢見て、切磋琢磨してゆくではありませんか。そうすれば、お互いの夢がきっと、叶うときがくるはずです。
ありがとうございました。

万葉倶楽部グループ 60周年謝恩会 ごあいさつ



万葉倶楽部 株式会社
専務取締役

高橋 眞己

本日はご多忙のなか、万葉倶楽部グループの60周年謝恩会にお越しいただきありがとうございます。また日頃より弊社グループに多大なるお力添えをいただき、感謝いたします。

前回の55周年から60周年まで、5年が過ぎました。この5年間のなかでは、小田原駅西口隣接のマンション再生事業（新幹線ビル）を進め、2020年の開業を目指す小田原駅東口再開発事業のほか、現在中断しておりますが豊洲千客万来施設事業など、大きな事業開発案件が進んでまいりました。直近では京都市西京区におきまして温泉施設を併設したホテルの購入をいたしました。また、昨年より不動産事業免許も取得し不動産事業にも関わるようになっております。

私はこのような新規案件を主に担当しています。新規店をつくるたびに知人や取引先から『次から次へと休みなく事業展開していく万葉倶楽部にはよくそんなに人がいますね』とたびたび聞かれます。たしかにそうです。新しい事業・施設を始めるには多くの人材が必要です。ただ、不思議な事にそういう場面では新たな人材が登場し活躍してきました。これは創業から弊社会長の高橋が『人』を大切に、活かしてきた組織の風土文化なのでしょう。この伝統はこれからも経営の真髄として残していかなければならないと思います。

しかし、それでも人の確保は企業の大きな問題となっています。昨今の日本は若い人を中心に人口減少の構図は止まる事なく、人手不足と人件費上昇はさらに続き、その影響から事業縮小や閉鎖など、厳しい選択を迫られる環境すらあります。

以前より、企業の源は『人』だと言われていますが、企業間格差は正に『人』によると言っても過言ではないでしょう。万葉倶楽部はこれからも『人』を大切にそして活かし、さらにチーム力でこの厳しい事業環境のなかで、堅実に成長していく企業として進んでいかねばなりません。また、ご来館いただくお客様に対し、温かい接客をもとに憩いの時間を楽しんでいただけますようさらに努力してまいります。

皆さま方には、今後とも弊社グループの良きアドバイザーそしてパートナーとして変わらぬご支援をお願い申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

本日は忙しいなかお越しいただきありがとうございます。ありがとうございました。

1957

MANYO CLUB GROUP

2017

万葉倶楽部グループ

役員紹介

万葉倶楽部グループ 役員紹介



万葉倶楽部株式会社 代表取締役会長
日本ジャンボー株式会社 代表取締役会長
株式会社天成園 代表取締役会長
株式会社ニュー八景園 代表取締役会長
サンミ倶楽部株式会社 代表取締役会長
ニューウェルシティ湯河原株式会社 代表取締役会長
ロジックデザイン株式会社 取締役

高橋 弘



万葉倶楽部株式会社 代表取締役社長
日本ジャンボー株式会社 取締役
株式会社天成園 取締役

高橋 理



万葉倶楽部株式会社 専務取締役

高橋 真己



日本ジャンボー株式会社 代表取締役社長
万葉倶楽部株式会社 取締役

高橋 洋一



万葉倶楽部株式会社 常務取締役
管理部部长
日本ジャンボー株式会社 監査役
株式会社 天成園 監査役

池内 浩二



万葉倶楽部株式会社 常務取締役
小田原館支配人

高橋 剛司



万葉倶楽部株式会社 取締役
横浜みなとみらい万葉倶楽部支配人

米岡 功樹



万葉倶楽部株式会社 取締役
新規開発事業部 部長

関根 俊幸

万葉倶楽部グループ 役員紹介



株式会社エス・ビー・エム 代表取締役社長

村松 潔



株式会社エス・ビー・エム 常務取締役

塚本 将人



万葉倶楽部株式会社 取締役 開発担当
株式会社天成園 代表取締役社長
株式会社ニュー八景園 代表取締役社長
サンミ倶楽部株式会社 代表取締役社長
ニューウェルシティ湯河原株式会社 代表取締役社長

目黒 俊男



万葉倶楽部株式会社 企画開発担当顧問
株式会社天成園 取締役

増渕 正明



株式会社ニュー八景園 取締役

三木 謹一



株式会社ニュー八景園 取締役 支配人

岡本 隆弘



サンミ倶楽部株式会社 取締役 支配人

森 真



ロジックデザイン株式会社 代表取締役社長

村田 祐一郎



ニューウェルシティ湯河原株式会社 取締役 総支配人

廣澤 俊美

1957

MANYO CLUB GROUP

2017

万葉倶楽部グループ

グループ会社

万葉倶楽部グループ グループ会社



**万葉倶楽部
株式会社**

【本社】
〒250-0011 神奈川県小田原市栄町1-14-48
ジャンボーナックビル8F
TEL : 0465-22-6665 (代)
FAX : 0465-24-5900
URL : <http://www.manyo.co.jp/>
mail : manyoclub@manyo.co.jp



**日本ジャンボ
株式会社**

【本社】
〒250-0011 神奈川県小田原市栄町1-14-48
ジャンボーナックビル8F
TEL : 0465-20-1500 (代)
FAX : 0465-21-0108
【泉事業所】
〒413-8510 静岡県熱海市泉山下27-1
TEL : 0465-63-6121
URL : <http://www.jumbo.co.jp/>
mail : info@mail.jumbo.co.jp
代表取締役会長 高橋 弘
代表取締役社長 高橋 洋一
取締役 高橋 理
監査役 池内 浩二



**株式会社
エス・ビー・エム**

〒424-0837 静岡県静岡市清水区桜橋町4-7
TEL : 054-364-7690
FAX : 054-361-1161
URL : <http://www.shizuoka-sbm.co.jp/>
mail : infosbm@mail.jumbo.co.jp
代表取締役社長 村松 潔
常務取締役 塚本 将人



**株式会社
天 成 園**

〒250-0311 神奈川県足柄下郡箱根町湯本682
TEL : 0460-83-8500
FAX : 0460-83-8512
URL : <http://www.tenseien.co.jp/>
mail : yoyaku@tenseien.co.jp
代表取締役社長 目黒 俊男
取締役 高橋 理
取締役 増渕 正明
監査役 池内 浩二



**株式会社
ニュー八景園**

〒410-2211 静岡県伊豆の国市長岡211
TEL : 055-948-1500
FAX : 055-948-1234
URL : <http://www.hakkeien.jp/>
mail : front@hakkeien.jp
代表取締役会長 高橋 弘
代表取締役社長 目黒 俊男
取締役 三木 謹一
取締役 岡本 隆弘

万葉倶楽部グループ グループ会社



サンミ倶楽部 株式会社

〒413-0023 静岡県熱海市和田浜南町5-8
TEL : 0557-81-3384
FAX : 0557-81-8277
URL : <http://www.sunmi.co.jp/>
mail : front@sunmi.co.jp
代表取締役会長 高橋 弘
代表取締役社長 目黒 俊男
取締役 森 真



別館

〒413-0012 静岡県熱海市東海岸町14-66
TEL : 0557-85-8000
FAX : 0557-82-0191
URL : <http://www.sunmi.co.jp/bekkan/>
mail : bekkan@sunmi.co.jp



昭和倶楽部

〒413-0022 静岡県熱海市昭和町17-31
TEL : 0557-81-3333
FAX : 0557-81-1616
URL : <http://www.showaclub.jp/>
mail : showa@summi.co.jp



ニューウェルシティ 湯河原 株式会社

〒413-0001 静岡県熱海市泉107
TEL : 0465-63-3721
FAX : 0465-63-6401
URL : <http://www.welcity-yugawara.co.jp/>
mail : yoyaku@welcity-yugawara.co.jp
代表取締役会長 高橋 弘
代表取締役社長 目黒 俊男
取締役 廣澤 俊美



ロジック デザイン 株式会社

〒250-0011 神奈川県小田原市栄町1-14-48
ジャンボーナックビル7F 702号室
TEL : 0465-43-6955
FAX : 0465-43-6910
URL : <http://logic-design.jp>
mail : support@logic-design.jp
代表取締役社長 村田 祐一郎
取締役 高橋 弘



ウエタカ 商事 株式会社

〒250-0011 神奈川県小田原市栄町1-14-48
ジャンボーナックビル8F
TEL : 0465-46-7794
FAX : 0465-24-5900
代表取締役社長 上野 美恵子
取締役 高橋 弘
取締役 高橋 真己
監査役 池内 浩二

1957

MANYO CLUB GROUP

2017

万葉倶楽部株式会社

会 社 概 要

万葉倶楽部株式会社 会社概要

商 号	万葉倶楽部株式会社
本 社	〒250-0011 神奈川県小田原市栄町1-14-48 ジャンボーナックビル8F 経営企画部直通 TEL:0465-22-6665 (代) 管 理 部 直 通 TEL:0465-20-2400 ホ ー ム ペ ー ジ http://www.manyo.co.jp/
資 本 金	3000万円
代 表 者	代表取締役会長 高橋 弘 代表取締役社長 高橋 理
法 人 設 立	平成9年2月3日
決 算 期	毎年9月末日(年1回)
取 引 銀 行	静岡銀行 小田原支店 みずほ銀行 小田原支店 三井住友銀行 横浜法人営業部 横浜銀行 町田支店 商工組合中央金庫 沼津支店 りそな銀行 小田原支店 三菱東京UFJ銀行 沼津支店 横浜信用金庫 本店 川崎信用金庫 本店 神奈川銀行 本店 日本生命保険相互会社 横浜支社
主 要 取 引 先	株式会社 熊谷組／清水建設株式会社 株式会社 白洋舎／株式会社 ハシモト 株式会社 アクト企画室／村本建設株式会社 五洋建設株式会社／川本工業株式会社 株式会社 竹中工務店／株式会社 石井工務店 株式会社 ダイナナ
営 業 種 目	1.損害保険代理業 2.旅館業 3.不動産の売買・賃貸・仲介並びに管理業務 4.温泉供給業 5.公衆浴場の経営 6.酒類の販売 7.旅行業法に基づく旅行業 8.レストラン、飲食店の経営 9.観光土産品の製造、販売 10.建築設計事務所の経営 11.前各号に付帯する一切の業務
従 業 員	平成29年9月現在 正社員 248名 パート・アルバイト 1,425名 嘱託 71名 従業員 計 1,744名

万葉倶楽部株式会社 施設一覧



万葉倶楽部 株式会社

本社

250-0011 神奈川県小田原市栄町1-14-48
ジャンボナックビル8F

TEL : 0465-22-6665 (代)

FAX : 0465-24-5900

URL : <http://www.manyo.co.jp/>

mail : manyoclub@manyo.co.jp

代表取締役会長 高橋 弘

代表取締役社長 高橋 理



東京・湯河原温泉 万葉の湯 (1号館)

〒194-0004 東京都町田市鶴間1685-2

TEL : 042-788-4126 (代)

TEL : 042-796-0426 (総務直通)

FAX : 042-796-5556

mail : machida@manyo.co.jp

平成9年4月21日 (1997) オープン

平成23年4月20日 (2011) 全面新規グランドオープン



小田原お堀端 万葉の湯 (2号館)

〒250-0011 神奈川県小田原市栄町1-5-14

TEL : 0465-23-1126 (代)

TEL : 0465-23-8000 (総務直通)

FAX : 0465-23-1122

mail : odawara@manyo.co.jp

平成13年1月1日 (2001) オープン



博多 由布院・武雄温泉 万葉の湯 (3号館)

〒812-0042 福岡県福岡市博多区豊2-3-66

TEL : 092-452-4126 (代)

TEL : 092-452-4141 (総務直通)

FAX : 092-452-2641

mail : hakata@manyo.co.jp

平成13年 7月18日 (2001) オープン



北海道 ふとみ銘泉 万葉の湯 (4号館)

〒061-3776 北海道石狩郡当別町太美町1695-67

TEL : 0133-26-2130 (代)

FAX : 0133-26-3213

mail : futomimeisen@manyo.co.jp

平成14年1月14日 (2002) オープン



はだの 万葉倶楽部

はだの・湯河原温泉 万葉の湯 (5号館)

〒257-0032 神奈川県秦野市河原町2-54

TEL : 0463-85-4126

TEL : 0463-84-4188 (総務直通)

FAX : 0463-85-4144

mail : hadano@manyo.co.jp

平成15年9月20日 (2003) オープン

万葉倶楽部株式会社 施設一覧



旭川高砂台 万葉の湯 (6号館)

〒070-8061 北海道旭川市高砂台1-1-52
TEL : 0166-62-8910
FAX : 0166-62-8564
mail : asahikawa@manyo.co.jp
平成15年10月16日 (2003) オープン



沼津・湯河原温泉 万葉の湯 (7号館)

〒410-0011 静岡県沼津市岡宮1208-1
TEL : 055-927-4126
TEL : 055-925-8000 (総務直通)
FAX : 055-926-8000
mail : numazu@manyo.co.jp
平成16年3月1日 (2004) オープン



沼津ぐるめ街道の駅 竜宮海鮮市場

〒410-0011 静岡県沼津市岡宮1208-1
TEL : 055-927-1188
FAX : 055-927-0030
mail : numazu@gourmetclub.co.jp
URL : <http://www.gourmetclub.co.jp>
平成16年9月1日 (2004) オープン
平成25年3月1日 (2013) リニューアルオープン



横浜みなとみらい 万葉倶楽部 (8号館)

〒231-0001 神奈川県横浜市中区新港2-7-1
TEL : 0570-07-4126
FAX : 045-671-1188
mail : minato-mirai@manyo.co.jp
平成17年6月25日 (2005) オープン



神戸ハーバーランド温泉 万葉倶楽部 (9号館)

〒650-0044 兵庫県神戸市中央区東川崎町1-8-1
プロメナ神戸7F-16F部分
TEL : 078-371-4126
TEL : 078-360-1426 (総務直通)
FAX : 078-360-6006
平成22年7月23日 (2010) オープン

万葉倶楽部株式会社 施設一覧



※写真はジャンボー万葉



※写真はジャンボー羽田ビル

その他賃貸物件等

ジャンボー ナックビル	〒250-0011 神奈川県小田原市栄町1-14-48 ジャンボーナックビル（一部運用不動産）
ジャンボー 伊豆山	〒413-0002 静岡県熱海市伊豆山579-100（運用不動産）
共立早川 マンション	〒250-0021 神奈川県小田原市早川3-22-8（運用不動産） 共立早川マンション201号
土肥ビル	〒259-0303 神奈川県足柄下郡湯河原町土肥5-22-12
ジャンボー 湯河原	〒259-0302 神奈川県足柄下郡湯河原町門川441-1（一部運用不動産）
ジャンボー万葉	〒259-0303 神奈川県足柄下郡湯河原町土肥4-14-10
沼津ビル	〒410-0022 静岡県沼津市大岡2876-1（運用不動産）
日本ジャンボー 羽田ビル	（4F シティハイツ大鳥居） 〒144-0043 東京都大田区羽田1-7-13（一部運用不動産）
相産ビル	〒250-0011 神奈川県小田原市栄町1-44-1
横浜社宅	〒211-0853 神奈川県横浜市神奈川区三ツ沢東町32-2-2 〒211-0853 神奈川県横浜市神奈川区三ツ沢東町9-3 〒211-0853 神奈川県横浜市神奈川区三ツ沢東町32-2-3
町田社宅	〒194-0004 東京都町田市鶴間1684-4
秦野社宅	〒257-0032 神奈川県秦野市河原町5043-4
秦野ビル	〒257-0032 神奈川県秦野市河原町5015-10
熱海昭和町 ビル	〒413-0022 静岡県熱海市昭和町17-30（運用不動産）
青橋ビル （西口）	〒250-0045 神奈川県小田原市城山3-22-9
旭川社宅	〒070-8048 北海道旭川市忠和8条6丁目33-239
横浜社宅	〒221-0853 神奈川県横浜市神奈川区三ツ沢東町8-17
城山社宅	〒250-0045 神奈川県小田原市城山3丁目718番40
武雄土地	〒843-0022 佐賀県武雄市武雄町武雄7411
由布院土地	〒879-5102 湯布院町大字川上字重見1273-4
湯河原土地	〒259-0314 湯河原町宮上字尾畑下759-160 〒259-0314 湯河原町宮上字古腕ヶ沢 〒259-0314 湯河原町宮上字古腕ヶ沢760番 〒259-0314 湯河原町宮上字古腕ヶ沢760番96
湯河原温泉 ターミナル	〒259-0314 湯河原町宮上字古腕ヶ沢760番253

1957

MANYO CLUB GROUP

2017

万葉倶楽部グループ

グループの沿革

万葉倶楽部グループ グループの沿革



1957年10月1日
五千円札（聖徳太子の肖像）発行。同年12月11日、百円硬貨発行。

昭和32年8月（1957）

昭和35年12月（1960）

昭和37年1月（1962）



昭和38年8月（1963）



1963年11月22日
アメリカのケネディ大統領がダラスで暗殺される。
Photo : Getty Images



1964年10月10日
第18回東京オリンピック開催、開会式。
Photo : Getty Images



1969年7月20日
アポロ11号が人類初の月面有人着陸を果たす。

昭和39年10月（1964）



昭和44年12月（1969）



創業

熱海市伊豆山浜576において、現非常勤取締役が満22才の時アルプス写真を創業。カメラ及び付属品の販売・現像・焼付・撮影の業務を開始。
(資本金200万円)

会社設立

熱海市伊豆山仲道463-4において現非常勤取締役を中心に友人8名が出資、アルプス写真のDP部門を独立させ日本ジャンボー株式会社を設立。
(資本金150万円、株主9名)

従来、写真店・カメラ店で受付けたDPは各店が独自に現像・焼付を行っていたが、これを一つの現像所に集め大量処理することにより、仕上がりの迅速化とコストダウンによる薄利多売に成功。更に、受付と仕上げを分離した事で写真専門店以外の一般店でもDPの受付が可能になった。熱海を中心に平塚、小田原、真鶴、湯河原、三島、沼津、御殿場、富士に受付店を開設し益々発展。

カラー処理開始

この頃よりカラー写真が目立って普及、当社もいち早くカラー写真の現像焼付を開始。当時、静岡県下でのカラー写真現像処理は当社のみであった。

別会社設立

静岡市馬淵2-12-29において株式会社ジャンボーを設立。
(資本金400万円、株主8名)

静岡県中西部DP受付分の処理工場として発足、現非常勤取締役が代表者に就任。その後新静岡センター及び駅前地下街等に支店を開設、丸子にカラー現像所を建設。
(現在持株なし)

湯河原工場に移転

東京オリンピックを記念して、神奈川県足柄下郡湯河原町土肥4-3-12に湯河原総合現像所を完成、設備一切を移転。

別会社設立

日本ジャンボー株式会社の法人設立9周年に当たり、神奈川県中部のサービス工場として藤沢市善行にワールドカラー株式会社を設立。
(資本金1,000万円、株主12名)

翌年3月から始まるEXPO70を見通し、設備には日産能力でカラー現像3,500本、プリント枚数40,000枚を整え操業を開始。昭和50年度には年商額1億7,000万円となった。
(現在持株なし)

万葉倶楽部グループ グループの沿革



1973年10月
第四次中東戦争でオイル
ショック・モノ不足・大手
商社の買い占め



1975年4月30日
ベトナム戦争終結
Photo:Photo library

昭和46年3月 (1971)

別会社設立

拡大するカラー写真業界にあって、近い将来に予想される外国の高性能プリントプロセス機械いち早く導入する為、関東周辺のシェア確保にのり出し茨城県水戸市赤塚駅前に株式会社ジャンボーを設立。

4月より関東現像所としてカラー現像1,000本、カラープリント10,000枚の日産能力で操業を開始。

(資本金1,000万円、現在持株なし)

昭和48年4月 (1973)



別会社設立

取引先の株式会社大沢商会の懇請により、同社の経営する株式会社大阪現像所 (西ドイツアグファ・ゲバルト社の指定現像所、資本金2,000万円) の全株式を取得し経営を譲受。その後経営を軌道に乗せ初期の目的を達成した為、全株式を株式会社アロマカラーに売却。

昭和49年8月 (1974)



別会社設立

合理化の最先端をいく現像所の諸設備の内、特に受付から仕上げ、事務処理までを全く新しい方法で行うシステムを考案し、その関連商品の開発・販売を目的としエフエル株式会社を設立。

(資本金1,000万円)

主力商品はフィルムリーダー、フィルム引出器。62年12月フィルムピッカー3型を開発し販売を開始。平成元年10月当社と合併。

昭和50年4月 (1975)

別会社設立

アメリカで人気のスーパーマーケットの来店客 (幼年層) を対象としたポートレート撮影・仕上げ・販売業務を目的に、株式会社大沢商会及びマミヤ光機株式会社と共に株式会社ジャパン・ピクスターフォトを設立。

(資本金1,000万円、現在持株なし)

昭和53年7月 (1978)



別会社設立

清水市桜橋4-7 株式会社エス・ビー・エムに当社系列会社のエフエル株式会社より資本を出資し、静岡県中西部でカラー写真の現像焼付を開始。

(資本金1,650万円)

万葉倶楽部グループ グループの沿革

昭和55年10月 (1980)



旧工場取り壊し前の風景



昭和56年5月 (1981)



昭和57年2月 (1982)



昭和60年10月 (1985)



昭和60年の忘年会風景

昭和61年1月 (1986)



昭和61年12月 (1986)



湯河原新現像所

神奈川県足柄下郡湯河原町土肥4-3-12に鉄筋コンクリート造り一部3階建の現像所が完成。当現像所の8時間定時の日産処理能力はカラーフィルム現像10,000本、カラープリント200,000枚、白黒10,000枚でその売上相当額は1,000万円（月商2億5千万円、年商30億）。平成元年9月、泉現像所へ統合。

別会社設立

東京都清瀬市に株式会社東京アフターケア研究所を設立。（資本金500万円）

東京・埼玉・群馬方面の営業を開始。

昭和57年 7月 社名を株式会社シンエイカラーに変更。

昭和62年 8月 群馬県高崎市に高崎現像所を開設。（鉄骨造2階建）

平成元年 9月 増資。（新資本金900万円）

平成元年10月 当社と合併。

別会社設立

日本システム株式会社を設立。（資本金2,000万円）

ラボ向け料金計算システムの開発・販売、その他各種ソフトの開発を行う。なお、主力商品はハッピーシステム及びアルバビデオ。

調布現像所開設

東京都調布市に調布現像所を開設。東京西部方面の現像焼付を開始。昭和63年11月湯河原現像所に吸収統合。

伊那現像所開設

しなのカラー株式会社の営業権を取得し、長野県伊那市に伊那現像所を開設。長野県南西部方面の現像焼付を開始。

SBM本社移転

清水市庵原町に新現像所を建設し株式会社 エス・ビー・エム本社を移転。

別会社出資

富山県高岡市の株式会社富山カラー現像所に当社より資本金を出資し、北陸方面の現像焼付を開始。（資本金 2,600万円）

平成 2年 8月 当社北陸現像所の開設に伴い休眠会社となる。

平成 6年 9月 会社清算手続きにより消滅。



1982年2月9日
日本航空350便墜落事故、24人死亡。



1985年8月7日
初の日本人宇宙飛行士として向井千秋ほか3人が決定。

Photo : Getty Images



1986年4月26日
ソ連のウクライナ・ソビエト社会主義共和国のチェルノブイリ原子力発電所で大規模な爆発事故発生。

Photo : Getty Images

万葉倶楽部グループ グループの沿革

昭和62年1月(1987)



昭和62年3月(1987)



昭和62年6月(1987)



昭和63年1月(1988)



昭和63年5月(1988)



昭和63年7月(1988)



昭和63年9月(1988)



開設当初の工場の風景



1988年3月17日
東京ドームが完成。



1988年4月10日
瀬戸大橋開通。青函トンネル開業と合わせて「一本列島」と呼ばれるダイヤ改正を実施。



1989年1月7日
昭和天皇が崩御し、皇太子明仁親王が即位。
同年1月8日
元号が「平成」に改元される。
Photo : Getty Images

伊那新現像所開設

長野県西南部地域の営業拡大に伴う生産体制確立を図るため、新現像所を設立。

大阪現像所開設

大阪府吹田市に大阪現像所を開設。

千葉現像所開設

競争激化のカラーラボ業界にあってカラーDPサービスのスピード化を図る為、千葉県流山市に千葉現像所を開設。東京・千葉方面の現像焼付を開始。

別会社設立

静岡県熱海市に日本エンジニアリング株式会社を設立。
(資本金2,000万円)
技術者集団として、ペーパーのスリット加工及びグループ各現像所の機械・設備・施設の保守管理サービス等を担当。
(現在持株なし)

RV事業部設立 及 ロス支店設立

レジャー産業への進出の第一歩として、当グループのエフェル株式会社にて外国製モーターホームの輸入販売を目的にRV事業部を設立し、米国ロサンゼルス市郊外に土地・建物を購入、支店を設置。U. S. A. ウインバーゴ社製[ラシェーロ、エランタン]などのモーターホームの輸入販売を開始。

レンタルビデオ店 開 店

当社としては初めてのレンタル業に進出、手始めとして株式会社シンエイカラー高崎現像所1階にて、高崎市内では最大級の大型店舗ビデオレンタルジャンボーを開店。
(店舗面積約100坪、CD8,000枚、ビデオ8,000本)
平成2年10月 湯河原本店にレンタルビデオプラザを開店。
平成3年7月 高崎店のレンタル店を閉店。

名古屋現像所開設

愛知県大口町に名古屋現像所を新設。

新社屋建設・ 本 社

熱海市泉に新社屋を建設し、1階にはカラーペーパーのコストダウンを図る為、日本では初めての現像所によるペーパースリット加工を開始。2階には、当社の営業部・管理部・経理部を集結させることにより営業事務の効率化をはかり、3階には日本初のイタリア・グレゴリー社製、マキシラボシステムを導入。
(平成5年8月ペーパースリット加工は初期の目的を達成したために中止)

万葉倶楽部グループ グループの沿革



1989年6月4日
天安門事件
Photo: Photo library

平成元年3月(1989)

平成元年10月(1989)

平成元年10月(1989)

平成2年7月(1990)



平成2年8月(1990)



平成3年4月(1991)



平成3年7月(1991)



当時の役員記念撮影

平成3年10月(1991)



平成6年1月(1994)



平成6年3月(1994)



1991年12月25日
ソビエト連邦崩壊。ゴル
バチョフ大統領辞任。
Photo: Getty Images



1993年6月9日
皇太子徳仁親王、小和田
雅子様と結婚。
Photo: Getty Images

第三者割当増資

安定株主確保の為、金融機関・キャピタル会社等の出資を受け第三者割当増資を実施。また初めて転換社債を発行。

グループ4社合併

グループの組織力強化のため、当社及び株式会社シンエイカラー、エフエル株式会社(本社熱海)、エフエル株式会社(本社湯河原)を合併。清瀬営業所及び高崎現像所は日本ジャンボ株式会社として経営を始め、北関東方面に営業エリアを拡大。

同和火災代理店

当社は同和火災代理店として損害保険代理業を開始。

千葉新現像所開設

東関東地域の営業拡大に伴い生産体制の確立を図るため新現像所を開設。

北陸現像所開設

北陸3県のカラーDPサービスの向上を図るため、石川県金沢市に北陸現像所を開設し併せて営業部門の強化を図る。

佐野営業所開設

北関東地域により一層のDPサービス向上を図る為、小規模な現像設備を備えた佐野営業所を開設。平成6年1月にその現像設備は岩槻現像所に移転。

株式上場

資金調達の多様化、知名度の向上による人材確保、経営基盤の強化及び企業内容の充実を目的として日本証券業協会に株式を店頭登録する。
尚、上場価格は1株額面50円に対し3,090円、それに対し初値は4,640円であった。

厚木現像所開設

東京一極集中が続く中、首都圏における競争力向上のため神奈川県厚木市に当社で最大規模の現像所を開設。
又、当工場の開設により泉現像所の入荷分の約2/3を引き受ける。

岩槻現像所開設

関東北部における生産の拠点、及び東京近郊におけるより一層の競争力向上のため埼玉県岩槻市に岩槻現像所を開設。

公募増資

増大する写真需要への対策として羽田現像所・大阪現像所等の大型現像所の開設が急務とされ、この資金需要に対処するため公募増資を実施。尚、新発行株式数は115万株で、これにより発行済株式総数は6,860,560株となり新資本金額は42億6,269万円となる。尚、公募価格は1株5,630円。この増資により、当社の純資産は100億円を超えた。

万葉倶楽部グループ グループの沿革



1994年4月26日
中華航空機が名古屋空
港で着陸失敗、264人
死亡（中華航空140便
墜落事故）



1994年5月1日
F1・サンマリノGPで
アイルトン・セナが事故死
Photo: Getty Images



1995年1月17日
阪神・淡路大震災は
6434人が犠牲になる
大災害となった。
Photo: Photo library



1995年3月20日
前年の松本サリン事件に
続き、地下鉄サリン事件
発生

平成6年6月（1994）



平成6年7月（1994）



平成6年10月（1994）



平成6年11月（1994）

平成7年2月（1995）



平成7年10月（1995）

平成8年1月（1996）



この年MSP（マルチスキャン
ニングプリンター）の1000号
機を泉事業所に導入する。

平成8年4月（1996）

別会社出資

海外DPE事業進出の第一歩として、アメリカ ロサンゼルス市内に本社を置くアサヒフォト株式会社に資本金の50%（1,200株）を出資。
（資本金=72,000US\$）

新大阪現像所開設

当社の全国営業展開の柱として関西への進出が必要不可欠となり、大阪府摂津市に新大阪現像所を開設。尚、当現像所は当社としては最大級の現像所となり、また3階には子会社の株式会社エス・ビー・エム大阪現像所が移転。

羽田現像所開設

首都圏営業戦略の核として生産性を確保する為、東京都大田区に羽田現像所を開設。また地方都市への進出の為、エアー便によるフィルム集荷体制を整備。

新製品開発

新製品ネガポジプリント開発、試験販売を開始。

別会社出資

福岡県福岡市に本部をおく株式会社ミヨシに全額出資。
（資本金1,000万円）これにより当社にとって未開の地であった九州で営業展開を開始。

福岡現像所設立

当社が現像所用土地建物を取得し、株式会社ミヨシ福岡現像所として5月より稼働。名称を「福岡空港西門ビル」とする。

新大阪現像所の営業権譲渡

グループの総合力強化策として、新大阪現像所の営業権を株式会社エス・ビー・エムへ譲渡し関西地区一社体制に移行。従って当社新大阪現像所は解散となり土地建物はすべて株式会社エス・ビー・エムへ賃貸。

伊那現像所生産中止

生産効率の追求から中部地域における拠点である伊那現像所の営業・生産を分離し、生産を泉現像所に移行した。

内部組織・人事制度の変更

今後のグローバルな展開に備えて、新人事制度を構築する。課制度を廃止しグループ制度を採用、課長呼称をリーダーとした。また「現像所」を「事業所」に名称変更した。

万葉倶楽部グループ グループの沿革



1996年7月～
O157食中毒が多発。この年発症件数87件、患者数10,332を数える。

平成8年4月 (1996)



平成8年8月 (1996)



平成8年11月 (1996)

平成9年2月 (1997)

平成9年4月 (1997)

平成9年4月 (1997)



平成9年8月 (1997)



平成10年3月 (1998)

平成10年5月 (1998)



平成11年1月 (1999)



1997年8月31日
ダイアナ元英皇太子妃、
パリで事故死。
Photo : Getty Images



1998年2月7日
長野オリンピック開幕。
同年3月5日
長野パラリンピック開幕。
Photo : Getty Images



1999年1月1日
EUの単一通貨ユーロが
フランス・ドイツなど11
カ国で導入。
Photo:Photo library

APSカラー フィルム処理

新写真システム・APS (アドバンスド・フォト・システム) の開発に伴い、泉事業所にAPSフィルムの処理機械を設置。

写るゾウ 生産中止

リサイクルカメラの知的所有権問題発生とメーカー側のリサイクル体制が整った事を背景に、初期目的(環境破壊に対する貢献)は達成したと判断し生産を中止。

別会社出資

首都圏地域営業強化のため埼玉県岩槻市の有限会社レインボーに出資。

万葉倶楽部 設立

温泉事業の開始に伴い湯河原町に100%子会社の万葉倶楽部株式会社を設立。
(資本金9,800万円)

伊那事業所統合

組織変更に伴い伊那事業所を泉事業所に統合。

東京・湯河原温泉 「万葉の湯」開業

子会社の万葉倶楽部株式会社が東京都町田市に「東京・湯河原温泉 万葉の湯」を開業。

現像料0円開始

現像料0円、プリント1枚20円で営業展開を開始。

厚木事業所・ 岩槻事業所統合

生産効率の追求から泉事業所に厚木事業所を、また千葉事業所に岩槻事業所をそれぞれ統合し大規模事業所が誕生。

本社機能移転

泉事業所と厚木事業所の統合により泉事業所社屋が手狭となり、本社機能を沼津市大岡に移転。

エス・ビー・エム 管理機能移転

株式会社エス・ビー・エムの本部機能を沼津市大岡に移転。

万葉倶楽部グループ グループの沿革



1999年6月1日
ソニーがロボット犬
「AIBO」の発売を開始。
Photo: Getty Images

平成11年4月(1999)

**変形労働時間制
の導入**

社員を対象として勤務時間の変形労働時間制を導入、更なる合理化を図る。

平成11年7月(1999)



**ダイマックス・
プリント開始**

泉事業所にてダイマックス(DIMAX)プリンターを導入。品質の更なる向上を目指す。

平成11年7月(1999)



**店頭看板に
イメージ型を採用**

0円看板の価格訴求型からカラー写真のイメージ型に変更。

平成11年12月(1999)



新社長就任

代表取締役会長に高橋弘就任し、子会社の株式会社エス・ピー・エムより代表取締役社長に村松潔就任。

平成11年12月(1999)

**小田原お堀端
万葉の湯着工**

平成13年春開業予定の第2号館として小田原市栄町1-5-14に於いて「小田原お堀端 万葉の湯」着工。

平成12年4月(2000)

株式交換

株式会社エス・ピー・エムとの株式交換を行い100%子会社とした。

平成12年8月(2000)

提携の解消

東京アフターケア協会との提携を解消、生産を羽田事業所へ移行。

平成12年10月(2000)

業務提携

株式会社デジプリと業務提携を発表。従来の銀塩写真をデジタル変換しCD-Rの書込サービス、インターネットでの画像配信、保管及びインターネットでのプリント注文システムを開発する。

平成12年11月(2000)



**小田原お堀端
万葉の湯完成**

小田原市栄町1-5-14に「小田原お堀端 万葉の湯」が完成。12月26日よりプレオープン、13年1月1日より正式営業を開始する。

平成13年6月(2001)



本社機能移転

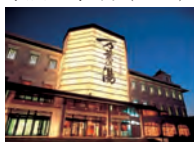
経営管理体制強化のため本社機能を神奈川県足柄下郡湯河原町土肥に移転。

万葉倶楽部グループ グループの沿革



2001年9月11日
アメリカで同時多発テロ
事件。4件の航空機ハイ
ジャックによる、米国に
対する大規模同時多発テ
ロ事件が発生。
Photo : Getty Images

平成13年7月(2001)



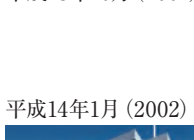
平成13年8月(2001)



平成13年9月(2001)



平成13年10月(2001)



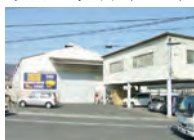
平成14年1月(2002)



平成14年2月(2002)



平成14年7月(2002)



平成14年9月(2002)



平成14年10月(2002)

**博多由布院・武雄
温泉 万葉の湯開業**

万葉の湯第3号館として、福岡市博多区に「博多由布院・武雄温泉 万葉の湯」を開業。13年7月19日より正式営業を開始する。

看板表示変更

同時プリント料金を690円から598円へ値下げ。それに伴いこれまで0円表示としていた看板を料金が明確に分かる3桁表示へ変更。

別会社出資

万葉倶楽部株式会社より静岡県熱海市にてホテルを経営するサンミ倶楽部株式会社に出資。

(資本金8,200万円)

**株式会社ミヨシ
吸収合併**

完全子会社株式会社ミヨシをコスト削減及び競争力の向上を目的として吸収合併。名称を福岡事業所とする。

**北海道ふとみ銘泉
万葉の湯開業**

万葉の湯第4号館として北海道太美町に「北海道ふとみ銘泉 万葉の湯」を開業。14年1月15日より正式営業を開始する。

業務提携

コダック株式会社と業務提携を発表。DPEラボ事業において提携し共同出資による新会社「ケイジェイイメージング株式会社」を14年3月に設立、共同でラボ事業を展開することを発表する。

(資本金13,000万円)

広島事業所開設

広島県広島市に広島現像所を開設。福岡事業所の生産処理の一部を移管、広島・山口2県のDPサービス向上を図る。

**大型デジタル
プリンター導入**

泉事業所にて日本初、大型デジタルプリンター(グレタック製)第一号機導入。(時間1万枚)

**生産・集配
部門引受**

効率的な生産・集配網を整備するため、ケイジェイイメージング株式会社がコダックダイアミック株式会社の生産部門・集配部門を全て引き受ける。

万葉倶楽部グループ

グループの沿革



2003年2月1日
アメリカ航空宇宙局、スペースシャトル・コロンビア号、帰還のため大気圏突入後、テキサス州上空で空中分解、墜落。



2003年7月21日
世界水泳選手権100m平泳ぎで北島康介が世界新記録で優勝。
Photo: Getty Images



2004年1月19日
自衛隊イラク派遣開始。陸上自衛隊先遣隊がイラク国内に入る。

平成15年1月(2003)



平成15年6月(2003)

平成15年9月(2003)



平成15年10月(2003)

平成15年10月(2003)

平成15年10月(2003)



平成16年1月(2004)

平成16年2月(2004)



平成16年8月(2004)

別会社出資

サンミ倶楽部株式会社より静岡県伊豆長岡町にてホテルを
経営する株式会社八景園に出資。
(資本金1,000万円)

営業権取得

仙台市のプラネクス株式会社より営業権を取得し東北地方
の生産・販売の拠点とする。

はだの・湯河原 温泉万葉の湯& ホテル万葉 倶楽部開業

万葉の湯第5号館として神奈川県秦野市に「はだの・湯河
原温泉 万葉の湯&ホテル万葉倶楽部」を開業。15年9月20
日より正式営業を開始する。

株式会社エス・ ビー・エム吸収合併

完全子会社株式会社エス・ビー・エムを経営効率の向上を
目的として吸収合併。清水、名古屋、大阪の各現像所を各
事業部とする。

営業権取得

子会社日本システム株式会社が株式会社エスシーアクトの
セキュリティ事業部の営業権を取得しセキュリティシステム
事業部を発足。同時に代表取締役社長に村松潔就任。

旭川高砂台 万葉倶楽部開業

万葉の湯第6号館として北海道旭川市に「旭川高砂台 万
葉の湯」を開業。

分社化

日本ジャンボー株式会社ビルメン事業部を分社化し株式会
社エス・ビー・エムとして発足。本社所在地を静岡市清水
桜橋町におく。

沼津・湯河原温泉 万葉の湯開業

万葉の湯第7号館として静岡県沼津市に「沼津・湯河原温
泉 万葉の湯」を開業。

営業権取得

ケイジェイイメージング株式会社がコダック株式会社より営
業権を取得する。

万葉倶楽部グループ グループの沿革



2004年12月26日
スマトラ島沖地震が発生。M9.3。津波などにより12カ国で15万人以上が死亡。
Photo : Getty Images



2005年4月2日
ローマ法王ヨハネ・パウロ2世が死去。
Photo : Getty Images

平成16年10月 (2004)

営業権取得

ケイジェイイメージング株式会社が株式会社東京ダイヤより営業権を取得する。

平成16年12月 (2004)

営業権取得

東京都板橋区の株式会社東京発色より営業権を取得し、関東地区の生産・販売の強化を図る。

平成17年3月 (2005)

新会社設立

NJ総合サービス有限会社を神奈川県足柄下郡湯河原町に設立しパート・集配者の派遣会社とする。同時に取締役社長に力石悠一就任。

平成17年4月 (2005)

営業権取得

ケイジェイイメージング株式会社より株式会社東京ダイヤの営業権を取得する。



平成17年4月 (2005)

新商品発売

デジタルアルバムを新発売する。



平成17年6月 (2005)

**横浜みなとみらい
万葉倶楽部開業**

万葉の湯第8号館として神奈川県横浜市に「横浜みなとみらい 万葉倶楽部」を開業。



平成17年6月 (2005)

新会社設立

万葉倶楽部スタッフサービス有限会社を神奈川県横浜市に設立しパートの派遣会社とする。同時に取締役社長に米岡功樹就任。

平成17年7月 (2005)

営業権取得

ケイジェイイメージング株式会社よりファミリーマートの営業権を取得する。

平成17年7月 (2005)

**営業・生産
拠点移動**

ケイジェイイメージング株式会社が営業拠点を東京都江東区に、生産拠点を埼玉県さいたま市に移動する。

平成17年8月 (2005)

**大型デジタル
プリンター
サイラ導入**

大型デジタルプリンター サイラ (時間2万枚) を羽田、名古屋、大阪、千葉事業所に導入。



万葉倶楽部グループ グループの沿革



2005年11月15日
紀宮清子内親王と黒田
慶樹の結婚式が帝国ホ
テルで行われ、紀宮清子
内親王は皇族の身分を
離れ、民間人となる。
Photo : Getty Images



2006年6月7日
シアトル・マリナーズの
イチロー外野手が、日米
通算2500本安打を達成。
Photo : Getty Images



2007年6月
iphone発売。



2008年9月
リーマン・ブラザーズ経営
破たん



2009年9月
民主党政権発足。

平成17年9月 (2005)

平成17年10月 (2005)

平成18年4月 (2006)



平成18年9月 (2006)

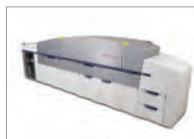


平成18年9月 (2006)

平成19年4月 (2007)



平成19年4月 (2007)



平成20年9月 (2008)

平成21年4月 (2009)



平成21年9月 (2009)



特 約 店

ケイジェイイメージング株式会社がコダックダイヤモンド株式会社の特約店となる。

営 業 権 取 得

福岡県北九州市の有限会社五十鈴産業より営業権を取得し九州地区及び関東地区の販売の強化を図る。

ホテル・サンミ 倶楽部別館開業

サンミ倶楽部株式会社が、日本ジャンボー株式会社の熱海サンビーチジャンボーを買い取り、ホテル・サンミ倶楽部別館として営業を開始する。

吸 収 合 併

万葉倶楽部株式会社と万葉倶楽部スタッフサービス有限公司とで吸収合併を行う。

デジタルプリント 受付機・フォト キャッチャー導入

デジタルプリントの拡販を目指し、無人デジタルプリント受付機（フォトキャッチャー）を当社取扱店に1,000台設置。

焼津・ホテル 三景苑取得

日本ジャンボー株式会社が、静岡県焼津市のホテル三景苑を買収し、万葉倶楽部株式会社が平成19年4月1日より三景園株式会社として営業を開始する。

デジタル印刷機 導 入

Kodak NexPress 2500をフォトグッズ事業部に導入し、Photo Bookの作成を開始する。

公 開 買 付 (MBO)の実施

当社の企業価値の向上を目的に、経営陣による迅速かつ機動的な意思決定の必要性に伴い、タカハシ計画有限会社による当社普通株式に対する公開買付を1株につき1,300円にて実施。
【買付総数：4,113,144株（53億4700万円）】
結果、ジャスダック証券取引所の株式上場廃止基準に該当し、平成21年1月に上場を廃止する。

本社機能移転

日本ジャンボー株式会社及び万葉倶楽部株式会社の本社機能をグループ全体の本部として集約するため、神奈川県小田原市の本社ビル（ジャンボーナックビル）8階へ移転する。

万葉の湯町田館 一 時 閉 館

東京・湯河原温泉 万葉の湯 町田館リニューアルのため、平成23年4月まで閉館する。

万葉倶楽部グループ グループの沿革



このレリーフは、天成園
瀧前広場に埋め込まれ
ております。

平成21年10月 (2009)

会社分割及び 商号変更

日本ジャンボー株式会社を分割会社、100%出資子会社であるケイジェイイメージング株式会社を承継会社として会社分割(吸収分割)を行い、日本ジャンボー株式会社の写真の現像、プリント等に関する写真事業を承継する。同時に、分割会社の商号を「ジャンボーホールディングス株式会社」に変更し、承継会社の商号を「日本ジャンボー株式会社」に変更する。

平成21年11月 (2009)



ニューウェル シティ湯河原 開業

神奈川県足柄下郡湯河原町に、「ニューウェルシティ湯河原」を開業する。

平成21年12月 (2009)



株式会社 天成園開業

神奈川県足柄下郡箱根町湯本に「箱根湯本温泉 天成園」を全面リニューアルしオープンする。

平成22年4月 (2010)



新規事業の 営業開始

神奈川県小田原市の本社ビル6階に新規事業の会員制フィットネスクラブ「four-b」、インドアゴルフ「DIGITAL Golf Park」をオープンする。

平成22年5月 (2010)

事業譲渡

日本システム株式会社の「情報システム事業部」を日本ジャンボー株式会社へ事業譲渡し、「システムソリューション事業部」として業務を継続する。

平成22年7月 (2010)



神戸ハーバー ランド温泉 万葉倶楽部 開業

万葉の湯9号館として兵庫県神戸市の神戸ハーバーランド内に「神戸ハーバーランド温泉 万葉倶楽部」を開業。

平成22年7月 (2010)



スパリゾート リバティ開業

万葉の湯10号館として大阪府岸和田市並松町に「スパ・リゾート リバティ」を開業する

平成22年7月 (2010)

オンライン 画像保管 サービス開始

デジタル写真プリントの店頭受付端末「フォトキャッチャー」と、日本ビューレット・パッカード株式会社が提供するオンラインフォトサービス「Snapfish」を連携したサービスの提供について、協業することに合意し、オンライン画像保管サービス「日本ジャンボー from Snapfish」を開設、サービスを開始する。



2010年10月
テリ落盤事故。作業員
33人全員救出。
Photo: Getty Images

万葉倶楽部グループ グループの沿革



2011年3月11日
東日本大震災。
Photo : Getty Images



2011年6月～7月
FIFAワールドカップ
日本女子代表（なでしこ
JAPAN）優勝。
Photo : Getty Images

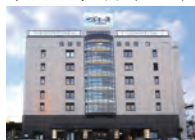


2012年7月～8月
ロンドン五輪開催。
Photo : Getty Images



2012年12月
衆議院総選挙。
民主党大敗。

平成23年4月(2011)



平成23年7月(2011)



平成24年2月(2012)

平成24年3月(2012)

平成24年7月(2012)

平成24年8月(2012)

平成24年8月(2012)



平成24年10月(2012)

平成24年12月(2012)

平成25年5月(2013)



平成25年9月(2013)



平成25年10月(2013)

**万葉の湯 町田館
リニューアル
オープン**

**新千歳空港温泉
万葉の湯**

新社長就任

**スパリゾート
リバティ閉館**

吸収合併

業務効率化

**いずみの湯
営業開始**

吸収合併

新社長就任

**ラグジュアリー
ルームを新設**

**万葉プレミア
倶楽部
開始**

**24時間営業
開始**

東京都町田市に、東京・湯河原温泉万葉の湯（1号館）が全面リニューアルオープンする。

万葉倶楽部のフランチャイズとして、北海道千歳市の新千歳空港国内線ターミナルビル4階に「新千歳空港温泉 万葉の湯」を開業する。

日本ジャンボー株式会社 代表取締役社長に高橋洋一就任。

大阪府岸和田市の「スパ・リゾート リバティ」（10号館）閉館。

共通機能の集約化及び経営資源の再配置によるグループ経営の効率化を図るため、ジャンボーホールディングス株式会社と万葉倶楽部株式会社を合併し、万葉倶楽部株式会社として新たな一歩を踏み出す。

生産資源を集中させることで業務効率化を図るため、東日本事業部泉事業所・西日本事業部大阪事業所の2極化体制とする。

神奈川県足柄下郡湯河原町の「ニューウェルシティ湯河原」内に、新たに露天風呂を造作し「いずみの湯」とし営業を開始する。

業務効率化及び人材資源の更なる育成を図るため、日本ジャンボー株式会社とNJ総合サービス有限会社とで吸収合併を行う。

万葉倶楽部株式会社 代表取締役社長に高橋理就任。

「横浜みなとみらい万葉倶楽部」にてラグジュアリールームを新設

ご利用頻度の高いお客様により満足感を深めてもらうことを目的とした会員制度「万葉プレミア倶楽部」を開始。

各館の営業時間を24時間営業に変更。
（旭川館、ふとみ館を除く）

万葉倶楽部グループ グループの沿革



2014年2月
ソチオリンピック開催。
羽生結弦金メダル獲得。

平成25年11月(2013)



平成26年4月(2014)

平成26年8月(2014)

平成27年4月(2015)



平成27年4月(2015)

平成27年4月(2015)



平成29年3月(2017)

平成29年3月(2017)

平成29年7月(2017)



平成29年12月(2017)



**沼津ぐるめ
街道の駅
竜宮海鮮市場
オープン**

**新千歳空港温泉
万葉の湯
フランチャイズ
契約解消**

**焼津・ホテル
三景苑閉館**

**昭和倶楽部
開業**

**TTO卓上
テーブル
オーダー
システム導入**

**フォービー
博多館
オープン**

**会長「神奈川
新聞 わが人生」
連載開始**

**小田原駅
東口お城通り地区再
開発事業**

**会長「101
歳の道程」
書籍発売**

**ホテル京都
エミナース
取得(予定)**

「沼津ぐるめ街道の駅」を改築し、「竜宮海鮮市場」としてリニューアルオープン。

万葉倶楽部のフランチャイズとして、北海道千歳市の新千歳空港国内線ターミナルビルの「新千歳空港温泉 万葉の湯」を契約解消する。

静岡県熱海市昭和町に「昭和倶楽部」を開業する。

温浴施設全館に「TTO」卓上テーブルオーダーシステムを導入。

会長 高橋弘「神奈川新聞 わが人生」連載開始

小田原市と小田原駅東口お城通り地区再開発事業『広域交流施設ゾーンの基本協定を締結』

会長 高橋弘「101歳の道程」書籍発売

ホテル京都エミナース取得(予定)

1957

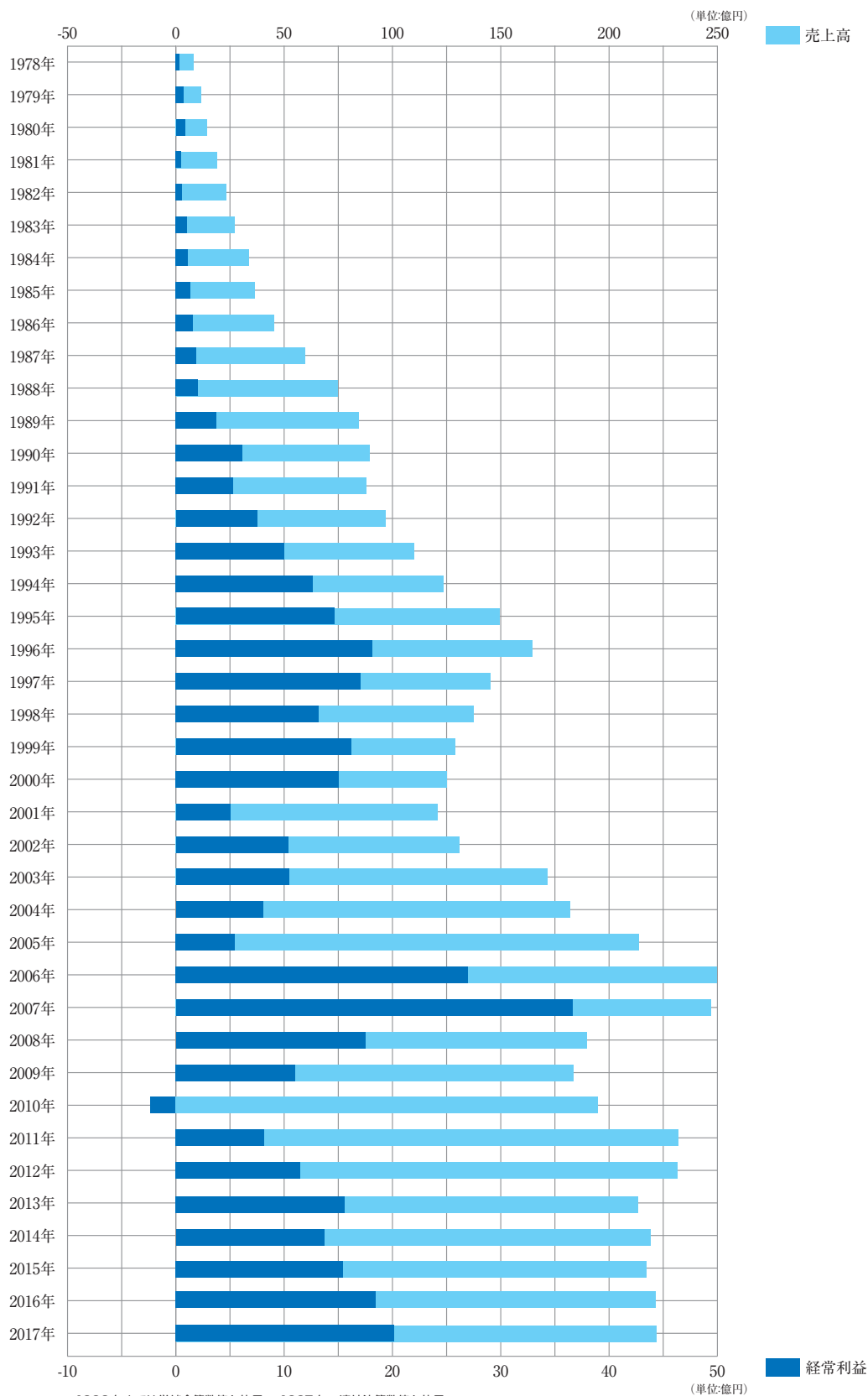
MANYO CLUB GROUP

2017

万葉倶楽部グループ

売上高・経常利益

売上高・経常利益





小田原駅東口お城通り地区再開発事業

60周年記念事業



ご 祝 辞



株式会社静岡銀行
頭取

柴田 久

創業60周年を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

万葉倶楽部グループの前身となる「アルプス写真」が創業された1957年は、まさに戦後の復興を終え、日本経済が拡大成長へと大きくその方向を転じた時にあたります。

以来、万葉倶楽部グループが60年の永きにわたり、目まぐるしく変化を繰り返す時代とともに、着実に発展の道を歩んでこられたのは、高橋弘会長の時代の変化を見抜く慧眼と、それを自社の飛躍へ導く卓越した経営手腕、そして多くの役職員の皆さまの不断のご努力の賜物と、心から敬意を表する次第です。

私ども静岡銀行は、御社設立以来、メインバンクとして昵懇なお取引をいただき、今日まで御社とともに歩んできました。振り返りますと、経済成長とともに、国民の生活が豊かなものとなるなか、写真は「写されるもの」から手軽に「写すもの」へと変化し、生活とは切り離すことができないほど身近な存在へと進化を始めました。御社はこうした変化を逸早く察知され、消費者に安く早く写真を届けるべく、DPEの全国ネットワークの構築に着手されるとともに、これまで大手メーカーの独占状態であったカラーフィルム現像技術の独自開発に踏み切るなど、マーケットインの発想のもと、絶えず消費者目線に立った企業として成長を遂げてこられました。

しかし、フィルムカメラの全盛期であり、業績も右肩上がりであった1995年、デジタルカメラが登場すると、その技術革新のスピードの早さを見抜き、DPE事業の将来性を危惧された高橋会長は、新しいレジャー事業として温泉施設の運営へと大きく舵を切られました。この時の決断には相応の不安もあったことと推察いたしますが、その後のデジタルカメラの急激な普及は、高橋会長の慧眼を証明するものでした。

こうして、温泉施設「万葉の湯」「万葉倶楽部」の第1号店が、私どもがご紹介させていただいた町田市にオープンしたのは1997年のこと。「温泉に人を集めるのではなく、人が集まる場所に温泉を運ぶ」という、これまで誰も思い至らなかった発想による事業は、身近な場所で高級温泉気分を満喫できると人気を博し、今では全国に万葉倶楽部グループは13の施設を数えるに至っています。

その後のホテル業への進出、地方創生に向けてご尽力されている「小田原駅東口お城通り地区再開発事業」など、高橋会長が中心となり手がけてこられた事業の軌跡は、神奈川新聞に「わが人生」として今年の3月から64回にわたり連載され、時代の先を読む鋭い感性が大きな反響を呼びました。

私たち金融業界も、過去に経験したどの時代よりも激しい変化の直中にありますが、御社にならい、変化を成長の糧として自ら未来を切り拓く気概をもって、新たなビジネスモデルの創造に取り組んでまいりたいと思います。

それでは、万葉倶楽部グループが、60周年を大きなステップボードとして、100年、200年と続く永遠の歴史を刻んでいかれることを祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。

ご 祝 辞



キリンビール株式会社
代表取締役 社長

布施 孝之

このたび、万葉倶楽部グループ様が創業60周年を迎えられました事を、心よりお祝い申し上げます。

60年という時代の流れの中で、日本社会は目まぐるしく変化し、私たちの生活も大変豊かになりました。その環境下におきまして、多様化する嗜好とニーズに迅速に対応してこられた高橋会長の大きな躍進力、決断力、そしてそれを支えてこられた役員、社員の皆様の粉骨碎身のご努力に敬意を表します。

著書【101歳の道程】でお伝えされている、“新たなステージに立とうとした際、立ち足はかかる諸問題により決断を取り下げざるを得ない状況に陥ったそんな折、がんばって会社を盛り上げようと努力してくれている社員達の笑顔が思い浮かび、決断を執行された。”シーンは今でも強く心に残っております。高橋会長の【共に戦う仲間を想う】熱く優しい眼差しが、社員の皆様との絆を長きにわたり形成してきたのだと、思いを馳せる次第です。

万葉倶楽部株式会社様は、常におお客様の立場に立ち、「上質の温泉・食・憩い」の喜びを最大限体験して頂けるよう細やかな工夫を行い、お子様からお年寄りまで幅広くご満足いただいていると伺っております。高橋会長がかつて日本ジャンボー様にて、フィルムの集配ルートの工夫や、社員が銀行に行く時間の削減等の「小さな工夫」の積み重ねの精神が、今日展開されている各万葉倶楽部施設様、各ホテル様でのご盛業の土台となっているのでしょう。

弊社商品も全施設で幅広くお取扱いただいておりますが、昨今の嗜好の多様化により、アルコール飲用動向も、ビール主体からカクテルやワイン、クラフトビール等と多岐に亘っております。貴社は、そのような変化にも迅速かつ柔軟に対応されており、それもおお客様の喜び最大化に繋がっているのではないのでしょうか。

また、小田原駅前での新たな事業展開等、貴社の次なる挑戦に周囲の期待も益々高まっていることと思います。地図に残る偉業を成し遂げてこられた貴社のますますのご発展、ご繁栄を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。本当におめでとうございます。

ご 祝 辞



小田原市長
加藤 憲一

万葉倶楽部株式会社・万葉グループの創業60周年を心よりお祝い申し上げます。

酒販店にはじまり、写真DPE、温浴施設・ホテル事業、そして新たに取り組む都市開発事業と、高橋弘会長の類稀な経営手腕をはじめ、各位の常に時代のニーズを見極める先見性・企画力で、実に多くの実績を築いてこられましたことに改めて深く敬意を表する次第です。

わが国のこの60年を振り返りますと、経済成長の隆盛や革新的な技術の発展・普及により、豊かになっていく日本の飛躍があった一方、近年は、少子高齢化による人口減少などの構造的な問題が顕在化し、大きな社会不安が蔓延するなど、激動の時代の中にありました。そのような中、貴社が歩んできた道のりも決して平坦なものではなかったと存じますが、小田原や近隣市町の地域経済を長く牽引してきた歴史は誠に偉大なものです。



さて、小田原市は現在、羽田から一番近い城下町としての都市の再生に取り組んでおり、昨年、平成の大改修によりしつらえを新たにした小田原城天守閣では、リニューアル以降100万人以上の観光客を迎えたほか、3周年の地下街ハルネ小田原が確かな集客を続けています。新しい市民ホールや小田原漁港の交流促進施設の整備も着々と進み、にぎわいと活気あるまちの再生が目に見える形で実現し始めています。

そして、新しい小田原の象徴を創り上げる「小田原駅東口お城通り地区再開発事業」が四半世紀を過ぎる紆余曲折を乗り越え、貴社の舵取りのもと事業が動き出しました。市民が長年待ち望んできた事業が、地元企業により手がけられることは何よりの喜びですが、歴史と文化を感じさせる宿場町の風情ある建築意匠に、ホテル、コンベンション施設、図書館など多くの機能を備えた拠点の誕生に期待は膨らむばかりです。

これまで多くの地元貢献をされてきた貴社と、今後も良きパートナーとして、私たち行政も日進月歩の精進をしてまいります。引き続き、地域の輝かしい未来に向けてお力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。100年の大きな節目を目指し、貴社のますますのご発展と、皆様のご健勝、ご多幸を心より祈念いたしまして、お祝いのことばとさせていただきます。

ご 祝 辞



熱海市長
齊藤 栄

このたび万葉倶楽部グループがめでたく創業六十周年を迎えられましたこと、誠にありがとうございます。心よりお祝いを申し上げます。

万葉倶楽部グループは、熱海市における傑出すべき企業家であられる、高橋弘会長が、熱海市伊豆山において昭和三十二年八月二日、満二十二歳の時、青雲の志をもって「アルプス写真」を創業されました。

以来、高橋会長の経営者として卓越したご手腕と偉大な人格により、順調に業績を拡大され、また、万葉倶楽部株式会社における“万葉の湯”の事業展開など、逐次その事業内容を拡張増進されております。今日の万葉倶楽部グループのご隆盛は、高橋会長を先頭にした役職員の皆様、そして関係者の皆様のご熱意とご努力の賜であると深く敬意を表する次第でございます。

一口に六十年と申しましても、その間、私たちの社会生活は、日本経済が歩んできましたように、めまぐるしく変化してまいりました。そして、私たちの生活も大変豊かなものとなり、同時に国民の価値観や嗜好が多様化し、そのニーズに迅速、的確そして柔軟に対応していくことが求められています。

こうした環境下、積極的な事業展開と経営基盤の強化により、創業六十周年という輝かしい金字塔の上に立ち、高橋会長の掲げられる“百年企業”へ向け、将来への一大飛躍を期されますことは、誠に意義深く、大きな期待を申し上げるものでございます。

本年、四月十日、本市は市制施行八十周年を迎えました。八十周年という節目は、これまでの熱海発展の歴史を振り返り、また、将来を展望する絶好の機会です。気持ちを新たに、「新生熱海」の実現に向け尽力してまいります。そして、後世の熱海市民にしっかりとバトンをつなげていくため、市民、産業界、議会、行政が一丸となって、本市の持続的発展の礎をともに築いていくことが重要であります。改めまして、関係者の皆様のより一層のお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、万葉倶楽部グループの益々のご繁栄と、役員職員並びに関係者の皆様のご多幸を心からお祈り申し上げまして、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

